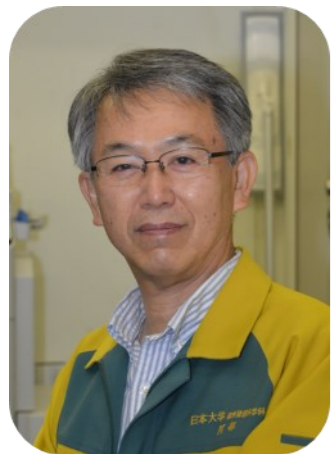


## 講師紹介



**阿部 和時 / Dr. Kazutoki Abe**

日本大学生物資源 科学部森林資源科学科 特任教授

日本大学農獣医学部林学科卒業後、森林総合研究所（当時、林業試験場）に入庁し、森林の崩壊防止機能など森林の多面的機能に関する研究、治山事業に関連する研究に従事。1993年、「樹木根系が持つ斜面崩壊防止機能の評価方法に関する研究」で博士号取得。その後、JICA ブラジル・サンパウロ州森林・環境保全研究計画、及びJICA 黄土高原治山技術訓練計画に従事。2005年より日本大学にて教育・研究に携わっている。



**古市 剛久 / Dr. Takahisa Furuichi**

森林総合研究所 森林防災研究領域 特別研究員

東北大学で学び、JICAに就職、退職後オーストラリア国立大学にてPhD取得。専門は地形学。ミャンマー、ベトナム、オーストラリア、北海道、東北地方などで自然災害や土地荒廃が顕在化した現場、気候変動の影響が疑われる現場を調査対象にして、地形変化のプロセスと歴史に関する研究を進めている。2020年から「森林技術国際展開支援事業」に携わり、ベトナム北部山地での現地調査に加え、治山技術の海外展開へ向けた現状と方策を探る調査分析も進めている。



**岡本 隆 / Dr. Takashi Okamoto**

森林総合研究所 森林防災研究領域 治山研究室長

1995年森林総合研究所入所、山地災害研究室長を経て2021年より現職。現地観測に基づいた山地災害の機構解明と危険度評価に関する研究を行う。2015年IAEGアジア地域会議優秀論文賞、2016年地すべり学会技術報告賞を受賞。2020年より、東南アジア（ベトナム）におけるF-DRRに関するプロジェクトに携わる。



**村上 亘 / Dr. Wataru Murakami**

森林総合研究所 森林防災研究領域 チーム長（リスク評価担当）

1997年森林総合研究所入所、2020年より現職。専門は地形学。近年は現地調査のほか、航空レーザー測量データや衛星データといったリモートセンシングデータおよびGISを使用した、森林斜面のリスク評価および土地利用と斜面災害との関係についての研究を進めている。



**Dr. Vu Tan Phuong**

ベトナム森林科学アカデミー ベトナム森林認証事務所VFCO 所長

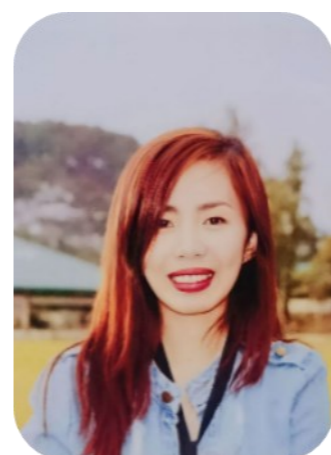
1994年よりベトナム森林科学アカデミーに勤務。2012年にベトナム森林科学アカデミーで林学博士号を取得。ベトナムの林業研究と管理、およびWB、FAO、UNDP、GIZ、JICA、CIFOR、ICRAFなどの国際機関でのコンサルタント業務に約30年の経験を持つ。森林政策やガバナンス、森林バイオマスや炭素蓄積量の推定、REDDプラス、気候変動の緩和と適応、持続可能な森林管理などに従事。



**Prof. Dr. Yongyut Trisurat**

タイ・バンコクのカセサート大学森林学部正教授

保護区、生物多様性保全、景観生態学、気候変動、GISの分野で30年以上にわたり活躍し、いくつかの国際機関（ADB、CIDA、DANIDA、FAO、GIZ、IPCC、IPBES、ITTO、IUCNなど）にも頻繁に貢献している。現在、タイ生物多様性保全・持続可能な利用のための国家委員会委員、タイ国家世界遺産委員会委員、IPBES事務局メンバー、アジア太平洋生物多様性観測ネットワーク（APBON）共同議長、東アジア太平洋地域（EAP）国際長期生態系ネットワーク科学委員会委員長、EAP生物多様性重要地域代表を務める。また、第6回IPCC AR WGIIの調整主執筆者、IPBESモデル・シナリオ報告書の主執筆者でもある。



**Ms. Sunshine Telio**

フィリピン保全イノベーションセンター（CCIPH）エコDRRプロジェクトコーディネーター

自然資源管理を専門とする環境学者。現在、フィリピン・ベンゲット州における災害リスク軽減と気候変動適応のための生態系ベースの適応策と緩和策の適用に焦点を当てたFAO支援プロジェクト「山岳流域における気候変動に対するコミュニティの回復力強化」のコーディネーターを務める。彼女の学問的・職業的経験は、内陸水資源の復旧・管理、環境管理計画、土地利用計画、災害リスク軽減計画、気候変動適応計画の策定・開発、脆弱性評価、生態系サービス評価と関連している。自身の組織とともに、リスクを軽減し、コミュニティの回復力を高めるための森林回復と保全に関するアドボカシーを行う。



**小西 力哉 / Mr. Rikiya Konishi**

国連食糧農業機関 森林局 森林強靱化チーム フォレストリー・オフィサー

2020年から生態系を活用した気候変動適応プロジェクト「国際的山地強靱化事業」を主導している。2000年に林野庁に入庁後、林野庁、環境省、外務省などで様々な役職を歴任。その間、JICA、FAO、ITTO、FCPF、UN-REDD、WB、GEF、UNDP、CBD、UNU、OECDとの自然資源管理プロジェクトやプログラムに従事。プロジェクトマネージャーとして、F-DRRと農業バリューチェーンの概念を開発途上国の活動やプログラム、政策に組み込み、普及させることに取り組んでいる。